

令和6年度
家畜衛生ポスターデザインコンテスト
表彰作品

令和6年12月

農林水産省消費・安全局

動物衛生課

家畜衛生ポスターデザインコンテスト事務局

総評

審査委員長

初めての開催となる令和6年度家畜衛生ポスターデザインコンテストには、5歳から72歳まで幅広い世代の方から、130点の応募をいただきました。第1回のコンクールとは思えないほど、表現力に富んだレベルの高い作品が多く寄せられ、頭を悩ませつつも楽しみながら審査をさせていただきました。

全体として、ヒトには感染しないものの豚にとっては致死的な病気であるというアフリカ豚熱の怖さと、その予防のためにヒトが気を付けなければならないこと、という難しいテーマについてよく理解されていたと感じます。また、分かりやすく適切な行動を促すことについてもしっかり表現に取り組まれていました。ただし、泥をどのタイミングで何のために落とすのか、これらの対策がどのように国民への生活に寄与するのかが分かるようなアフリカ豚熱特有の感染対策を訴えた作品は少ないと感じました。目を引くポスターである一方、メッセージが不足してしまったり、メッセージが多くなるとPR性が抑えられる結果となったりするなど、今回のテーマや表現の難しさを再認識しました。

審査にあたっては、「アフリカ豚熱対策」は、観光地や行楽地等に訪れた皆さんが、その場を楽しみながらも行っていただきたい事項であることを鑑み、複数のポスターが掲示されている場所でも目立つデザインや、ポスターを目にした人が積極的に協力しようと思う気持ちを引き出せるデザインを高く評価しました。また、佳作となりました、幼い子が書いた「こわいよう」という豚さんが泣いてる絵は、アフリカ豚熱の怖さを訴えたインパクトのある作品でした。

いずれにしても、130点の作品は、描いた人にも見る人にもアフリカ豚熱への注意、対策の必要性などの理解を醸成するために有効であり、本コンテストの開催自体が意味のあるものであったと考えます。特に、小学生や保育園児が興味を持って参加してくれたことには、大変意義を感じます。本コンテストが、一人でも多くの方にとって、日本の畜産業を守るためのより良い行動をとるきっかけとなりましたら幸いです。

氏名	中村 桜子	都道府県	東京都
所属	小学校 2年		



<作品コメント>

私はお肉が大好きです。私たちが登山でする何気ない行動からイノシシやブタ肉が困ったことになるを知り、母からすすめられたポスターをかいてみました。ルールを守ってこれからも楽しく登山をしたり、おいしいブタ肉を食べたいです。

<審査員コメント>

「～してくれてありがとう」という互惠性を活用したメッセージは、ポスターを目にした人の協力的な態度を引き出すことができると期待される効果的なメッセージだと感じました。適切な行動をしなかった結果も分かりやすく示されており、行動をとる必要性を認識することができる内容になっています。山や豚、楽しむ人もルールを守って笑顔で楽しむ様子がポジティブで望ましい姿を例示していて、より自発的な行動変容を促すことが期待できます。

ペンネーム	ちばのうまきち	都道府県	千葉県
所属	-		



Please clean your shoes
before leaving,
and take your trash with you.

靴の泥土を落とし、ゴミはお持ち帰りください。

safeguard against African swine fever アフリカ豚熱予防策

<作品コメント>

近年増加している外国人ハイカーへ向けて、ウイルスから日本の養豚場を守る行動は「キレイにして帰ること」という点に絞り、ソロ・グループ・人種等関係なく、身近な仲間や同じ山に訪れた人と協力し取り組んでもらいたい想いを前向きに描きました。

<審査員コメント>

親しみやすいキャラクターによって適切な行動が分かりやすく示されています。日本語と英語でアピールしている点も評価できます。

氏名	古田 優馬 / 鄭 欣岳	都道府県	愛知県
所属	-		

アウトドアでの

3つの約束

アフリカ豚熱 感染防止

守ろう! 畜産と未来の食卓



お約束 01

ゴミ・残飯は持ち帰る

キャンプや登山では、ゴミを確実に持ち帰るか、指定の場所に捨てましょう。野外に捨てた食品にアフリカ豚熱ウイルスが付着していると、野生のイノシシが食べて、アフリカ豚熱に感染する可能性があります。



お約束 02

靴の土は落として入山・下山

土にもアフリカ豚熱が付着している恐れがあります。ウイルスが含まれた土が付着した靴で入山・下山すると、ウイルスを広げてしまいます。靴の土はブラシなどで落としてから入山・下山しましょう。



お約束 03

家畜がいる施設に近づかない

家畜がいる施設では、家畜が病気になるように対策を行っています。ウイルスが衣服や靴に付着している可能性もあるため、近づかないようにしましょう。

アフリカ豚熱とは ... 豚やイノシシが感染する感染率と死亡率が高い病気

致死率はほぼ100% 有効な治療法やワクチンはない 周辺農場への伝染の可能性ある

アフリカでは常在的に、ロシア及びアジアでも発生が確認されています。日本では発生していませんが、もしも日本の豚農場で発生すれば、多くの豚が死亡し、おいしい日本産豚肉の生産が難しくなります。なお、アフリカ豚熱は豚、イノシシの病気であり、人に感染することはありません。



<作品コメント>

キャンプや登山などのアウトドアをする方に向けたメッセージとして制作しています。3つの約束を具体的に示し、その約束が日本の畜産や未来の食卓に繋がることへの意識を高めたいです。

<審査員コメント>

3つの要素が適切に盛り込まれ、イラストも端的でわかりやすいです。なぜその対策を行うのかもしっかり理解されている作品です。

氏名	青木 勇麻	都道府県	徳島県
所属	徳島市国府小学校 6 年		



<作品コメント>

家ちく衛生や、アフリカ豚熱感染という言葉も聞いた事はありませんでした。けれど、ポスターを書く前に調べて人がルールを守ること、病気を防げることを知りました。これからは、自分たちが出来ることを行動して、ポスターをみてもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。

<審査員コメント>

紙面を広く使った構図が印象的です。絵具の質感も、通行者の目を引き、ポスターを見てもらえる要因になっていると思います。

氏名	平田 詩織	都道府県	茨城県
所属	吾妻小学校 6年		



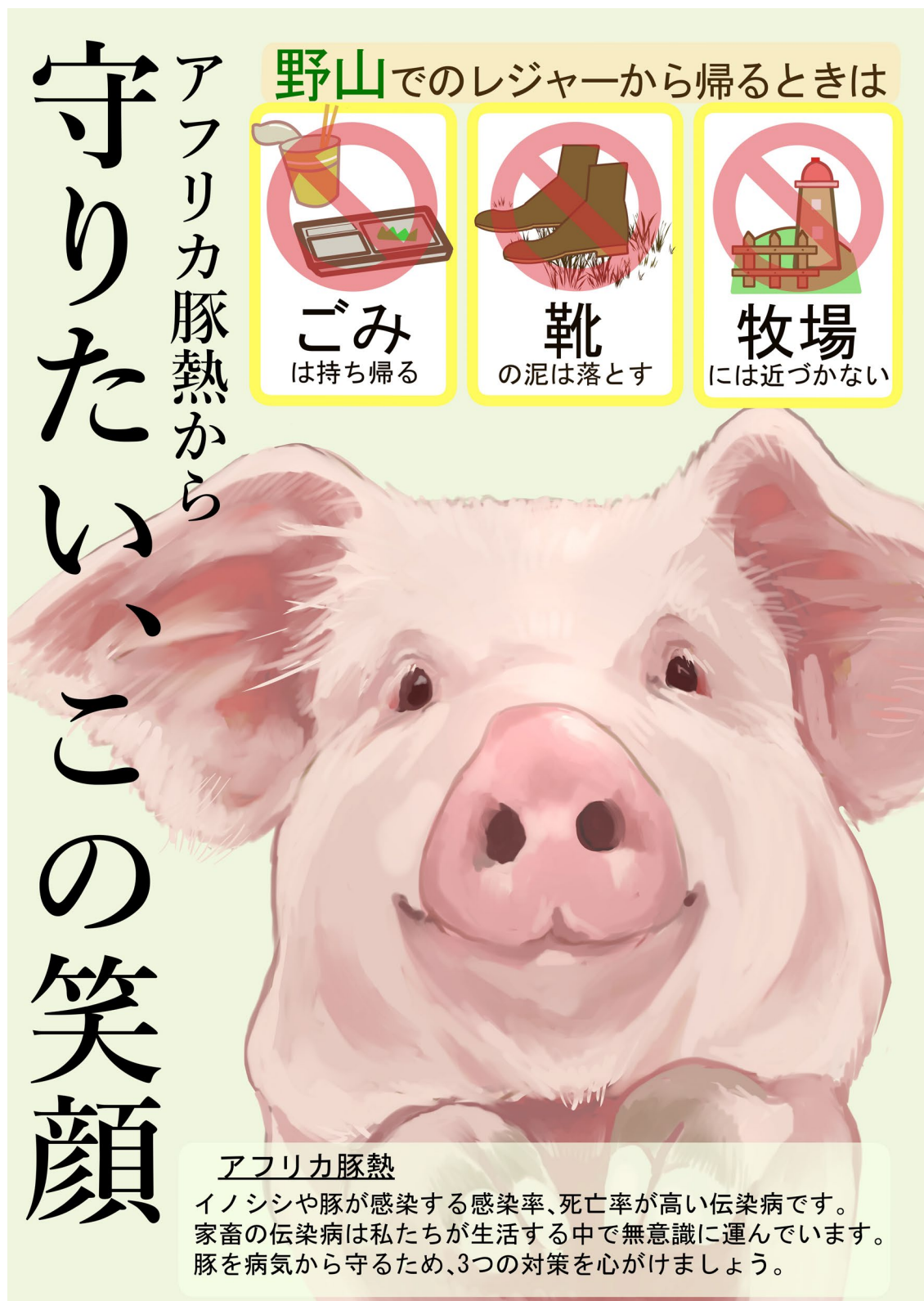
<作品コメント>

アフリカ豚熱のことを調べたら、この病気が日本に入ると私たちの食生活が大きく変わってしまうことが分かりました。ウイルスが日本に持ち込まれないようにするほか、自分たちにもできる対策があることを知ってほしくて、このポスターを描きました。

<審査員コメント>

「靴底の洗浄・消毒は家畜衛生の第一歩」は非常に重要なメッセージです。ブラシの毛先やズボンの質感など、丁寧に描かれている部分も評価しました。

氏名	小林 香梅	都道府県	神奈川県
所属	公務員		



<作品コメント>

アフリカ豚熱について、アジアで数少ない清浄国である日本を、このままの状態を保ちたい気持ちを込めました。致死率の高いアフリカ豚熱から、愛らしい豚さんの命をみんなで守っていきましょう！という気持ちになればいいと思います。

<審査員コメント>

豚の柔らかい笑顔が印象に残ります。ルールについてもシンプルに提示され、解説も簡潔で分かりやすいです。

氏名	野田 里咲子	都道府県	愛知県
所属	-		



<作品コメント>

このポスターデザインは、アフリカ豚熱の流行の発端になりうるウイルスを含んだ土を運ぶ靴裏が影を落とした先に、日本の養豚業界が今にも踏み潰されそうになっている様子を表現しています。あまり一般的ではない病気、また意外な感染源や対策についてあまり知識が無い人の目にも入るようなアイキャッチを意識しました。

<審査員コメント>

「靴」「養豚」をトピックにした作品が多数ある中で、想像力を膨らませ、他にない表現をされていることを評価しました。

氏名	吉田 綸菜	都道府県	佐賀県
所属	東明館高等学校 2年		



<作品コメント>

はっきりした色を使ったり、イラストに躍動感を出してみたりして、見た人へのインパクトを大切にしようとして考えて描いた。また、感染症対策のためにどんなことをしたらいいのか誰が見てもわかりやすいようにイラストや文字をレイアウトした。



<作品コメント>

ポスターを通じてアフリカ豚熱の感染源を伝えたいと考えました。キャッチコピーの「この熱、どこから?」と、熱を出した豚のイラストから、見た人が「なぜだろう」と興味をもっていただくことをねらいとしています。

氏名	平川 未奈	都道府県	北海道
所属	北海道農業共済組合		



<作品コメント>

飛び出すような、菌とイノシシと人、そして嫌がる豚のイラストで、やってはいけないことだとイラストで理解できるポスターを目指して作成しました。「家畜に近づかないこと」を繰り返し伝え、最後に「あなたの判断が、日本の農業の食と未来を守ることに繋がります。」という強いメッセージをつけました。

氏名	中川 美瑠	都道府県	長崎県
所属	-		



＜作品コメント＞

具体策をシンプルに分かりやすく記し、人間・猪・養豚の健全な食生活を表現しました。場面は区切っていますが、人間の足下に猪・豚を並べた構図は、「野外活動が野生動物に影響を与える」「巡り巡って家畜にも…」という注意喚起を促す意図も含めています。

氏名	中川 祐芹	都道府県	神奈川県
所属	-		



＜作品コメント＞

様々な層の方の目にとまり、親しみやすさを憶えてもらうよう、過度なアニメキャラクター的表現を控え、中性的なかわいらしさが出るよう気を付けました。

佳作

氏名	石田 奈緒	都道府県	神奈川県
所属	市立錦保育園		



<作品コメント>

ぶたさんのびょうきはいいです。

ペンネーム	かじりき	都道府県	宮崎県
所属	大学生		



<作品コメント>

キャンプやピクニックに出かけた人々がこのポスターを見ることで、アフリカ豚熱について知るきっかけとなり、自主的に食べ残しを持ち帰るようになるといいなという願いを込めて描きました。

氏名	山水 萌	都道府県	神奈川県
所属	公務員		



<作品コメント>

ポスターを見た人に“自分にもできることがある”ということを知ってもらうために、残飯の持ち帰りや靴の泥を落とすなど、実際の対策の中で特に簡単なものを載せました。また、イラストでも実際に残飯や靴の泥を落とすところを描くことで、視覚的にも分かりやすいように心がけました。

氏名	岸野 早紀	都道府県	三重県
所属	-		

おいしい豚肉を守ろう

STOP!

アフリカ豚熱

African swine fever virus

1 野生の生き物に餌をあげナイ

Do not feed wild animals

2 ポイ捨てをしナイ

Littering prohibited

3 山に土を持ち込まナイ

Do not bring in soil

3つのナイでみんな笑顔に!

アフリカ豚熱って?

豚やイノシシが感染する、感染率と死亡率が高い病気です。
 日本では発生していませんが、もしも日本で発生すれば多くの豚が死亡しおいしい日本産豚肉の生産が難しくなります。感染源はイノシシからのものが多く、イノシシは私たちが訪れる山にも生息して生息数も多いことから、みんなで対策を行う必要があります。

<作品コメント>
 周りに埋もれず、わかりやすく、親しみが持てるポスターを心がけました。鮮やかなメインカラーに優しい印象のイラストを組み合わせ、キャッチーなコピー文で目に入ります。海外の方にもアフリカ豚熱に対する注意を促せるように英語表記も加えています。